

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

はやいもので11月も半ばに入り、秋の深まりを感じます。

文化祭も終わり、合唱練習の歌声が聞こえてこなくなったのは、少し寂しく感じますが、普段の学校生活に戻り、平穏な日常の中で、学びの秋、読書の秋、芸術、スポーツの秋、そして食欲の秋とそれぞれの秋を満喫してほしいと思います。一日一日を大切に過ごしてください。

朝夕の気温がだいぶ下がり10℃を下回る日が増えてきました。インフルエンザも流行しています。本校でもたくさん欠席者がありました。本校のピークは過ぎたものの、油断せずに、こまめな手洗いうがい、マスク着用、換気等、基本的な感染予防対策を取り、体調管理に気を付けて過ごしてください。



お話聞かせて.....

本校では、2学期の文化祭終了後のこの時期に、教育相談期間を設けています。今年は、11月4日(火)から12月5日(金)までの期間実施する予定です。

生徒たちは日々学校生活を送る中で、様々な悩みや不安を抱えています。誰かに話をすることで、こころがスッと落ち着くこともあるかと思います。

特に3年生にとっては、12月の保護者会に向けて、受験校の決定など、自分の進路を自分で決めていかなければいけない時期となりました。はじめての経験であることから、わからないことや心配事、不安な気持ちが出てくることも当然あると思います。そして1、2年生でも、学校での友だちとのかかわり方や勉強のこと、自分のことなど悩みや不安を抱えていることもあるかと思います。

この機会を利用することで、自分の中にため込んでいた悩みを吐き出すことができずきりするかもしれません。自分の悩みや心配などを整理できるとともに、相談していく中でいい解決策が見つかったりするかもしれません。まずは、関わっていただける担任の先生など、身近な大人に自分の思っていることを話してみてください。



第4回学校運営協議会を開催しました

11月4日(月)、学校運営協議会を開催しました。

当日は、委員のみなさまに1、2年生の授業や学校の様子を参観し、感想をいただくとともに、4月に実施した全国学力学習状況調査の結果報告等を行いました。

授業参観の感想をお聞きする中で、ある委員の方から「トイレのスリッパが思いのほか片付いていることに感心した。」とお褒めの言葉をいただきました。天栄中だより第5号で「トイレのスリッパをそろえよう!」と題して書いた記事を読んで、天栄中学校のみなさんが「次にスリッパを使う友だちを大切に思いながらそろえることができる」と気持ちの良い学校になっていくと思います。そんな学校を



技術科 プログラミングの授業を参観

自分たちで意識しながら創っていきなさい」という部分を意識して、日々実践してくれている生徒がいるということがとてもうれしいですね。

また、ある委員の方からは、「『(生徒に「学校どう?」と尋ねると)学校に行くのが楽しい』と聞く。(生徒に)理由を尋ねると『先生がいい。(授業が)わかりやすい。予習で分からないことも授業でよくわかるようになる。』と言っていた。」とのこと。本当にうれしいご意見をいただきましたこと、ありがたいなと思うと同時に、「これからいい授業づくりをしていかないといけない。がんばろう!」と前向きな気持ちになりました。

学校運営協議会は、学校・保護者・地域がそれぞれの立場で共に考え、知恵を出し合いながら熟議し、地域ぐるみの学校づくりに取り組んでいます。「つながり」と「まなび」のある天栄中学校をともに目指していければと思っています。これからもよろしくお願いします。

「認知症」とは？ 中学生の自分たちにできることは？

11月5日(水)、職場体験学習を来週に控えた2年生を対象に、認知症サポーター養成講座が行われました。

講師として来ていただいた介護福祉士の方からは、「認知症になると、今までできていたことができなくなり、本人はすごく苦しみ、悲しくなること」「中核症状という脳の細胞が壊れてしまって起こる症状は治らないこと」「行動・心理症状(BPSD)は、周りの人の助けがあればよくなるため、『大丈夫だよ』と優しい言葉で接することが大切なこと」を教えてくださいました。

職場体験学習では、お年寄りの方が職場に来訪されるかもしれませんし、日頃から地域において関わりがある人もいますかと思ひます。

そんな時は、教えていただいたことを思い出して、笑顔で優しく接することができるといいですね。

ロバ隊長(認知症サポーターのイメージキャラクター)

ロバは急がずゆっくりと歩く動物であることから、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりへの道のりを急がず一歩一歩着実に進んでいく」という意味を込めて、ロバ隊長が認知症サポーターのイメージキャラクターとなっています。

また、ロバ隊長がオレンジ色なのは、あたたかさを感じ、『手助けします』という意味が込められています。



中学校美術作品展が開催されました

11月8日(土)・9日(日)・10日(月)の3日間、イオンモール鈴鹿内イオンホールで鈴鹿市立中学校美術作品展が開催されました。

鈴鹿市立中学校の1年生から3年生までの生徒が授業の中で制作した作品が展示されていました。どの作品も、制作者の創意工夫がうまく表現された力作ばかりでした。中学生の作品が鑑賞でき、芸術の秋を感じることもできるひと時を過ごすことができました。



中学校音楽会が開催されました

11月10日(月)、イスのサンケイホール鈴鹿で鈴鹿市中学校音楽会が開催されました。

市内10校の3年生生徒たちが午前と午後に分かれて5校ずつ大きな舞台で合唱を披露しました。

本校からは、3年D組とB組が出場しました。2クラスの生徒たちは、大きな舞台に上がれなかったなかまの想いも込めて合唱しました。3年生全員の想いとつながりが感じられる素晴らしい響きがホールいっぱいに満たされ、思わず涙がこぼれそうになりました。どの学校も、それぞれの中学校の想いが伝わる素晴らしい合唱を披露し、とても感動しました。芸術の秋を感じる贅沢な時間を過ごすことができました。



秋の夜長に、穏やかな気持ちで読書を楽しもう

秋の夜長に、読書に親しんでみてはいかがでしょう？

活字離れが言われて久しい今日この頃、あえてアナログに触れてみるのも贅沢な時間の使い方ではないでしょうか？

少し短めのエッセーや絵本でもいいと思います。少しの時間、こころを穏やかにして活字に向かってみましょう。新たな発見があるかもしれません。

以前勤めていた学校で、絵本の読み聞かせをしていただいた方が卒業していく子どもたちに次のようなメッセージを送られました。その時、とても共感をしたことを覚えています。みなさんにも紹介します。



「絵本は、小さい子が読む本と思っている子もいるかもしれないけれど、中学生でも、大人になってからでも読み返してもいいんだよ。その時々心の状態によって感じ方も違うし、そこから新たな学びもあるんだよ。だから今後も本を手にとってほしい。」